

2021年2月22日

九州から日本を動かす! Move Japan forward from 九州! (121)

「住みたくなる街 飯塚」(別紙資料参照)の三番目は、飯塚市の文化や豊かな自然などの観光リソースを再認識し、魅力を発信して文化拠点となる街づくりをします。

炭鉱時代築かれた伊藤伝右衛門邸は文化遺産になりました。1,000人以上を収容できる木造建築の嘉穂劇場も市内中央に存在します。

嘉穂劇場を拠点にして明るい笑いのある文化事業に取り組みたいと思います。若者の会話力、発信力形成にも役立ちます。高齢者対応の、お笑い介護レクリエーション、シャッター商店街寄席等も飯塚の明るさを育てていく活動になっていくと思います。

1985年に始まった飯塚国際車いすテニス大会は知名度が高くなりました。今年もコロナ禍で中止が決まりましたが、例年はアメリカや欧州から、この飯塚の街を目指して実に多くの外国人選手たちが参加するのです。地元のボランティア約2,000人が、「イイツカ方式」と称されているきめ細かい支援、応援をしてくれ、大都会では味わう事のないヒューマンタッチの交流となります。年間35百万円くらい掛かるこの大会が飯塚の地で30年間以上も市民や市役所に支えられているのは私たちの誇りです。「イイツカ方式」と言われるこのボランティアの盛り上がり感謝しています。この文化をこれからの「住みたくなる街 飯塚」に活用できると思います。

街の中央を流れる遠賀川は10年くらい前に氾濫し、嘉穂劇場が浸水するなどの実に大きな被害を受けましたが、直方市に排水機場が出来てからはほとんど心配なくなりました。

それどころか、芳雄橋が立派に掛け代わり、そこから川の中央の土手に降りる階段が付いています。昨年からは川土手でバーベキューも出来る様になったので市民が活用します。良い空気を吸いながら、遠くの山々を見ながらのレクリエーションです。こうして川が身近に活用できるとなると市民は「私達の川」という事で愛着を持ち、大事にしていくと思います。こうした自然が身近にあるというのもローカルアドバンテージです。ストレスが少なく、職場も近く、生活コストも安い。そして福岡市へのアクセスは道路も鉄道も段々と便利にな

る。40分の運転や電車で行けるのですから、東京の片道60分通勤とは違います。

いかがですか？住みたくなる街になっていくのは不可能ではないでしょう。我々市民がその気になり、勢いというか動きが見えてくるときらにこの流れは加速されていくし、市民としても自らこの流れに参加してくると思います。行政にお願い、おねだりするのではなくて、自分たちで素地を作り動かしていく事がポイントです。国は財政的危機に瀕しているのですから、勢いのある、自主性のある良い成功モデルの街を応援していくのが合理的だと思います。その動きを地元市民が首長と一緒に進めていく事です。そこにはビジョンが必要です。

皆で住みたくなる街にしていきたいと思います。世界では、元気を取り戻している炭鉱都市は無いようです。国内だけでなくドイツやアメリカを見ても。こうした点でも、私たちはさらにファイトが出てきています。

麻生 泰

※次ページに別紙資料あり

住みたくなる街 飯塚

1. 健康寿命を延ばし、高齢者が生涯現役で住み続けことができる街づくり
 - ① 中心商店街を拠点に健康ウォーキング事業(ファミリースタンプラリー)、健幸フレイル予防事業(ステップ運動)に取組み、高齢者が健康で、賑やかな街づくり
 - ② 生涯現役(農業、商業、医療・福祉など)で、社会活動、趣味(サークル、野菜作り)、ボランティア活動、スポーツ活動(グランドゴルフなど)に参加し続ける街づくり
 - ③ 地域包括ケアシステムを推進し、高齢者向けの栄養指導など、在宅での医療、看護、介護、リハビリサービスの充実した社会をめざす

2. 女性が明るく社会参加する街づくり、若い人が住みたくなる街づくり
 - ① 不妊治療・妊娠・出産・子育ての一貫した取組みによる子育て支援(保育園、認定子ども園、幼稚園、児童クラブ)、小中学校の充実
 - ② 女性が働きながら子育て出来る街、まちづくり協議会、自治会、住民、警察、医療機関、ボランティア等による支援で安心して暮らせる街
 - ③ 地元大学生による小中学生向けのIT教育の充実した街
 - ④ 福岡市へのアクセスの良さと、生活コストの低さをいかして、若い人が生活基盤を作りやすい支援と起業しやすい体制づくり

3. 飯塚市の文化や豊かな自然などの観光リソースを再認識し、魅力を発信して文化拠点となる街づくり
 - ① 嘉穂劇場を拠点とし、明るく笑いのある文化事業に取り組む
例:お笑い介護レクリレーション、シャッター商店街寄席
 - ② 車いすテニス大会を成功させている「飯塚方式」と称されるボランティア文化を活用する
新しい体育館の活用⇒スポーツタウン
 - ③ リノベーションスクールからリノベーション事業へ取組み、商店街活性化へ